



「たんこぶ」は、どう手当てをすればいいの

ぬれたタオルなどで、すぐに冷やす

「たんこぶ」は、皮膚の下の血管が破れて、皮膚の下に血のたまったものです。破れた血管は、体のはたらきで自然にふさがり、血も吸収されてしまいますので、こぶは、やがてなくなります。こぶができたときには、ぬれたタオルなどで、すぐに冷やしましょう。痛みがやわらぎ、なおりも早くなります。

また、こぶをいじったり、あたためたりすると、よけいに痛くなりますので、注意しましょう。

「たんこぶ」ができるのは

「たんこぶ」ができるのは、たいてい頭で、頭のようにかたい骨が、皮膚のすぐ下にあるところです。おしりのような、やわらかいところにはできません。

体じゅう、皮膚の下には、細い血管がたくさん通っています。

体を強くぶついたり、たたいたりすると、かたい骨と皮膚のすぐ下にある血管は破れ、血が出ます。その血が、骨と皮膚の間にたまったのがこぶです。（監修・保志 宏）

たんこぶができるようす

